

# 第 30 回日本疫学会学術総会 講演集変更

2020 年 5 月 13 日時点  
第 30 回日本疫学会学術総会事務局

## 【プログラム変更／Change of the program】

(中止)

シンポジウム 3 (国際化推進委員会企画)

JEA-IEAWP JOINTSYMPOSIUM (Global Affairs Promotion Committee Session)

「What is expected as “Regional collaborative activities of IEA-WP region”」

(追加)

特別集会

「コロナ肺炎にそれぞれが向き合うために」

日時：2020 年 2 月 22 日 (土) 9:30～11:45

会場：第 3 会場 (国際科学イノベーション棟)

座長：中山健夫 (京都大学)、栗山進一 (東北大学)

演者：水本憲治 (京都大学)

特別発言：井村春樹 (京都大学)

## 【演者変更／Change of the speaker】

O-009

喫煙と肺がん罹患：日本の大規模コホート研究を統合したプール解析

小柳友理子 (愛知県がんセンター)

→伊藤 秀美 (愛知県がんセンター)

## 【取り下げ／Withdrawal】

O-023

Eating Vegetables at Start of Meal and Food Intake among Preschool Children in Japan

○Jiaxi Yang<sup>1</sup>, Yukako Tani<sup>2</sup>, Manami Ochi<sup>3</sup>, Takeo Fujiwara<sup>2</sup>

1 Harvard T. H. Chan School of Public Health, Boston, MA, USA,

2 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学,

3 国立保健医療科学院保健福祉サービス研究部

**P-217**

**宇都宮市の通所型介護予防教室におけるサルコペニアの検討**

○橋本 充代<sup>1</sup>、西山 緑<sup>1</sup>、降旗 幹子<sup>2</sup>、滝田 恭子<sup>3</sup>、大場 いくみ<sup>3</sup>、山崎 高世<sup>3</sup>、古市 照人<sup>4</sup>

1 獨協医科大学地域医療教育センター、2 国際医療福祉大学保健医療学部、

3 宇都宮市保健福祉部高齢福祉課、4 獨協医科大学リハビリテーション科学

**P-277**

**A review for screening the plants with antidiabetic activity in two countries in South Asia**

○Vishwa Desilva, Ashoka Sanjeevani, Lakmali Abeywardana

Department of Pharmacy, Faculty of Allied Health Sciences, General Sir John Kotelawala Defence University, Sri Lanka

**P-310**

**Coffee drinking and liver-related mortality in the Asia Cohort Consortium : a proposal**

○Hyun Jeong Cho, Jung Eun Lee,

on behalf of the Asia Cohort Consortium Investigators

Department of Food and Nutrition, Seoul National University, Seoul, Republic of Korea

**P-331**

**口腔機能と現在歯数の死亡との関連：地域在住高齢者における JAGES 縦断研究**

○梅原 典子<sup>1</sup>、相田 潤<sup>1</sup>、草間 太郎<sup>1</sup>、木内 桜<sup>1</sup>、山本 龍生<sup>2</sup>、近藤 克則<sup>3,4</sup>、小坂 健<sup>1</sup>

1 東北大学大学院歯学研究科、2 神奈川歯科大学大学院歯学研究科、

3 千葉大学予防医学センター、4 国立長寿医療研究センター

**【訂正／Correction】**

**P-161 【結果】 5 行目以降**

(誤) 飲酒（時々または毎日）および十分な睡眠は肥満発症と正の関連を、喫煙、朝食の欠食（週 3 回以上）、歩行又は同等の身体活動（1 日 1 時間以上）は肥満発症と負の関連を認めた。

また飲酒（時々または毎日）、十分な睡眠は腹部肥満の発症と正の関連を、喫煙、朝食の欠食（週 3 回以上）、早食い、夕食後の間食（週 3 回以上）は腹部肥満の発症と負の関連を認めた。

(正) 飲酒（時々または毎日）および十分な睡眠は肥満発症と負の関連を、喫煙、朝食の欠食（週 3 回以上）、歩行又は同等の身体活動（1 日 1 時間以上）は肥満発症と正の関連を認めた。

また飲酒（時々または毎日）、十分な睡眠は腹部肥満の発症と負の関連を、喫煙、朝食の欠食（週 3 回以上）、早食い、夕食後の間食（週 3 回以上）は腹部肥満の発症と正の関連を認めた。